



# 紫雲児の心

私は、いろいろなスポーツを観戦するのが好きです。なかなか現地には行けませんが、テレビ中継でも、頑張っている姿から元気をもらえます。

11月7日の全校朝会では、あきらめずに挑戦することについて、画像を示しながら全校生徒に以下のような話をしました。苦しいこと、辛いことはたくさんありますが、諦めずに努力を続けることで、夢を叶えたり、目標に近づいたりでき、何よりも、心が満たされます。そんな人になってほしいと願っています。

校長 五十嵐 めぐみ

今から4年ほど前の夏休みの終わり頃、テレビで陸上のアジア大会の女子マラソンを見ました。その大会には2人の日本人選手が出場していて、32歳の野上恵子選手が、見事、銀メダルを取りました。

野上選手は絵を描くのが好きで、中学校では美術部に入ろうと思っていたのですが、一つ上のお姉さんが美術部で、一緒はいやなので陸上部に入ったそうです。高校でも大学でも、社会人になってからも陸上を続けましたが、けがが多く、あまり大会に出られませんでした。思うように結果が出ない中で、野上さんは何度も「陸上をやめたい。」と思ったそうです。そして、「最後にマラソンに出て、陸上をやめよう。」と思い、初めてマラソンに挑戦しました。ところが、最初で最後と思って挑戦したマラソンで、日本で6位になりました。野上さんはマラソンが楽しくなって、やめようと思っていた陸上を続けることにしました。そしてついに、32歳にしてアジア大会で銀メダルを取ったのです。ゴールした時の野上さんの輝く笑顔を、私は今でも忘れません。どんなに苦しくてもあきらめずに、最後までがんばり抜いたから、こんな素敵な笑顔になれたのだと思います。試合後のインタビューで野上さんは、「やめないで続けていれば、夢は叶う。」と言っていました。解説していた、シドニーオリンピックのマラソンで金メダルを取った高橋尚子さんも、「諦めなければ、夢は叶うんですよ！」と、とても嬉しそうに語っていました。テレビで見ていた私もとても感動し、元気をもらいました。



皆さんは、頑張っても思い通りにいかないことはありませんか？そんな時、「あの時、ああしておけばよかった・・・。」と、終わったことをくよくよ考えたり、「うまくいかないのは誰々のせいだ。」と、誰かのせいにしたくなったりしませんか？でも、過去と他人は変えられません。変えることができるのは、自分と未来だけです。「苦しいから」とやめてしまうのは簡単ですが、途中で諦めてしまったら、自分自身がスッキリせず、モヤモヤした気持ちが残ります。うまくいなくても諦めず、「どうしたらよいか。」を考えましょう。「これから」どうすれば良いか、「自分は」どうすれば良いのかを考えて、行動に移していくことが大切です。結果はどうあれ、やりきれば、充実感・達成感を味わえ、「頑張った！」と満たされた気持ち、つまり、幸福感を感じることができ、それがまた「頑張る力」になります。長い人生で、うまくいかないことはたくさんあります。でも、諦めずに頑張ることで、人は幸せになれるのです。

2学期は、勉強も難しくなり、体育祭や合唱コンクールなどの大きな行事もあって忙しいですね。でも、その中で、自分なりの目標をもって頑張れば、必ず得るものがあります。たとえうまくいなくても、誰かのせいにしたり簡単に諦めたりせず、「自分にできることは何か。」「どうすればうまくいきそうか。」を前向きに考えて、これからもいろいろなことに挑戦してください。充実感・達成感を味わって、幸せになってください。